



箕 環 道 第 231 号

平成20年(2008年)10月21日

国土交通省道路局長 殿

箕面市長 倉 田 哲 郎



中期的な計画の策定あたっの意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、平素より本市道路行政に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、道路特定財源については、「道路特定財源等に関する基本方針」が平成20年5月13日に閣議決定され、新たな中期計画として、更なる検討を進められているところと考察いたしております。

本市におきましても、厳しい財政状況の下、本市道路行政への市民ニーズを勘案し、効果的、効率的な道路施策の推進が必要であると認識しており、都市計画道路等の幹線道路のみならず、生活道路に至るまで、地域の特性を生かした道路整備を進めてまいりたいと考えており、別紙様式のとおり道路行政全般についての意見とさせていただきますので宜しくお願い致します。

1. 本市ではこれまで、約350kmの道路整備を行っており、橋梁数で150箇所、これ以外にも交通安全施設等の整備を行っており、今後、本格的な大量更新へ向けた取り組みが必要となってきます。そのために、財政が厳しい中、道路構造物等を計画的かつ効率的に維持、管理補修が出来る補助金制度等、地方にとって使い勝手の良い制度の拡充を要望します。
- 2 歩道が設置出来ない歩車共存道路で生活道路、通学路、福祉施設等の公共施設へのアクセス道路の交通安全対策として、運転手等に視覚的に歩車の分離を促し、歩行空間をよりイメージさせるために、路側帯の内側にカラー帯(黄色、緑色)を設置するモデル的試みを市道白島外院線や市道西小路滝ヶ花3号線で行っておりますが、警察協議の中で道路交通法の関係から一定車道幅員を確保しなければならず、十分な路側帯のカラー帯が確保出来ておりません。(警察などへの柔軟な対応と市への権限拡大を検討ください。)生活道路や通学路、各種公共施設へのアクセス道路の現状を見据えた交通安全対策を講ずることが出来るように、歩車共存道路の整備指針を関係機関と連携して、早急に策定されたい。また、こうした道路に対する補助制度の創設も合わせて要望します。

○現状

本市では円滑な交通を確保するため、市域を越えた広域的な交通体系および地域整備を考慮しながら、都市計画道路の整備を重点的に進めてきました。
幹線道路は、震災や火災時の消防活動・避難・緊急輸送や延焼遮断帯等、防災空間として、また日常生活を支える上・下水道、ガス、電気などといったライフラインをはじめ諸施設等の収容空間としての役割も果たしており、市街地整備に併せ順次整備を進めています。
生活関連道路については、安心して快適な暮らしを確保するためのネットワーク化とともに、環境に配慮しながら整備を進めてきました。



- ・交通量の増加により幹線道路の流動性が悪い
(国道171号、府道箕面池田線、府道豊中亀岡線、府道箕面摂津線、市道中央線など)
- ・歩道の未整備路線などでの交通事故の危険性が高い
(市道箕面今宮線、市道オケ原線、市道イ線、市道国道西中央線など)
- ・市財政状況の悪化による一部道路整備の停滞
(都計道路桜井石橋線〔桜井駅～瀬川新稲線〕、都計道路萱野東西線、都計道路芝如意谷線〔面整備区間〕など)
- ・高齢化の進展と交通弱者に対するバリアフリーへの対応
(歩道段差改良工事 平成19年度末80%完了)

○課題

・国道171号、府道豊中亀岡線、市道小野原豊中線〔船場地区〕などの幹線道路では交通の集中による一時的な停滞が発生しているほか、箕面新都心「かやの中央」のまちびらきにより、国道423号において、新たな渋滞も発生している。

・市道箕面今宮線などの道路幅員に対して交通量の多い路線では、歩行者・自転車と自動車等による接触事故の危険性が高くなっている。特に府道桜井停車場線については、歩行者空間の未整備や不法駐車によって、既成市街地での商業活性化の阻害要因ともなっている。

・既成市街地の、都計道路桜井石橋線〔桜井駅～瀬川新稲線〕、都計道路田村橋通り線などについては、住環境問題や補助金の減少等により、道路整備もままならない路線である。

・バリアフリー新法が施行され、阪急電鉄箕面駅・牧落駅・桜井駅周辺をはじめとする道路施設について高齢者や障害者等交通弱者に配慮した安全対策の充実が望まれている。



高齢者、子ども、障害者等をはじめとした歩行者の安全確保と交通の円滑化を視点に、良好な景観を備えた道路・歩行車道等の整備を促進することが課題となっている。

1. 基本方針

- ・将来交通量や流通のニーズ、非常時への対応および市民の日常生活上の移動が容易に出来るような道路ネットワークを確立します。
- ・人にやさしく安全で安心して利用でき、生活空間としても楽しめる道路づくりを推進します。

2. 施策

(1)道路ネットワークの充実

- ・国道423号バイパス整備や第二名神高速道路整備等の影響を十分考慮し、交通渋滞の解消、まちづくりと整合した道路ネットワークの形成、さらには費用対効果など総合的な視点からの優先性に基づく計画的な道路整備を行います。
- ・土地区画整理事業等による新市街地と既成市街地とを結ぶ道路整備を推進します。

(2)安全で快適な都市環境の整備・保全

- ・歩車道の分離整備や自転車通行帯の整備、街路樹等による緑化を推進します。
- ・交通事故多発地点およびその周辺地域の交差点改良や道路照明施設の設置等により事故の減少を図ります。
- ・歩道と車道の段差解消を図るとともに、点字ブロックや交通安全施設等の設置を行い、誰もが安心して通行できる道路整備を促進します。
- ・地域と調和した個性的で魅力的なみちづくりを進めることで、地域における新しいコミュニティの場の創出に努めます。
- ・快適な都市環境を形成するため、道路沿道部分に立地する建築物、看板、広告物等の美観誘導を図ります。また、歩道部分における不法屋外広告物・商品のはみ出し陳列等の規制、指導につとめます。

(3)都市防災の強化

- ・狭隘な道路については、市民の積極的な協力を求めながら拡幅整備することで、消防活動の困難区域の解消を図ります。
- ・災害時における避難地への誘導や緊急車両の運行確保、延焼防止など防災の強化を視野に入れた道路整備を進めます。

(第4次箕面市総合計画から)

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

大阪府箕面市

○重点項目	○代表事例と効果	
(1) 国際競争力の強化のための交通サービスの向上	新名神自動車道及び国道423号等の大阪都心への南北軸を整備し、広域ネットワークを充実させることにより、大阪北部地域の活性化と渋滞緩和を図る。	
(3) 都市交通の快適性、利便性の向上	箕面新都心(かやの中央)、国際文化公園都市(彩都)などの新市街地整備や桜井駅周辺などの既成市街地の再整備に併せて、そのアクセス道路となる都計道路萱野東西線、都計道路国文都市4号線、都計道路桜井石橋線などの幹線道路の整備を進めることにより、活力あるまちづくりを進める。	
(4) 大規模な地震、火災に強い国土づくり等	災害時に広域避難地である船場繊維団地周辺などへの連絡機能を有する、小野原豊中線などの幹線道路の整備を進めることにより、都市防災の強化を図る。	
(5) 水害等の災害に強い国土づくり	既成市街地における密集市街地の防災対策として、狭あい道路拡幅整備を進める。	
(7) 総合的な交通安全対策および危機管理の強化	経年劣化による橋梁[市管理150基]等の道路構造物は、ライフサイクルコストとしての長寿命化、修繕等の費用の縮減、予防的な修繕及び計画的な再生を踏まえた、維持・管理・補修を図る。 市民生活に密接に関わる生活道路については、歩車共存の視点で維持補修、道路反射鏡等の交通安全施設の設置に努めている。	
(8) 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	歩道のバリアフリー化を推進するため、「箕面市交通バリアフリー基本構想」に基づき、障害者や高齢者をはじめとする全ての市民に優しい道路整備を進めている。	

○重点項目	○代表事例と効果	
(9) 良好な生活空間・自然環境の形成	市道中央線、市道小野原豊中線、市道千里2号線などの植栽されている街路樹の適正な管理による景観や環境に配慮した緑豊かな道路維持に努める。	
(10) 良好な景観の形成	都計道路小野原7号線などにおいて、面整備と合わせて、市民が安らぎと親しみを有するアメニティのあふれる道路整備を進めている。 府道豊中亀岡線〔国道171号～市役所〕等の無電柱化による歩道空間の確保、災害に強い道路整備を進める。	